

無題

お客様

・00・00・00・0・00・00・00・00・00・00・00・00・

◆ JFIC_日本食品検査メールマガジン ◆ 発信日：2019/10/25

・00・00・00・0・00・00・00・00・00・00・00・

□□=====

1. 各事業所からのお知らせ ~10月号は首都圏事業所よりお届け~

=====□□

●ATPふき取り検査を活用した衛生状態の確認をしてみませんか？

ATPふき取り検査では、測定結果はその場で得られます。

目視による衛生管理の確認に、機械器具類の清浄度の結果を加えた報告、提案が受けられ、

すぐに改善に取り組める店舗衛生調査等を実施してみませんか？

なお、費用については、規模や点検内容、ふき取り検体数によって

変わりますので、詳細はお問い合わせください。

店舗衛生調査のご案内 → <http://www.jffic.or.jp/inspection/inspection03>

●サルモネラの細菌検査技能評価試験のお申込みはお済みでしょうか？

第2回のサルモネラの細菌検査技能評価試験について、現在申込受付中です！

11月12日まで、ホームページ上でお申込みが可能となっております。

お申し込みはコチラ → <http://www.jffic.or.jp/news/20190701-2272>

近年、試験室においては、正しく細菌検査ができていくかどうかの検証として、外部監査の際に、外部精度管理の結果の提出を求められる場面が多くなっております。

JFICの細菌検査技能評価試験は年5回開催（サルモネラは年2回開催）しており、

外部精度管理の適切な実施結果として、多くの企業様に利用いただいております。

定員数に達すると締切となってしまいます！ お早目にお申込み下さい。

□□=====

2. 検査関連トピックス

=====□□

●輸出・HACCPについて

農林水産省において食品の輸出促進に向けて新法案が検討されています。

方向性としては、他国の輸出条件を整備し、国内のHACCP認定制度などを具体化し

国際交渉の政策を図るというものです。

輸出証明書の発行、生産区域の指定、加工施設の登録について、

明確な分担が法律には書かれていませんが、新法案では

関係省庁、自治体を明記し、十分な能力のある民間機関に加工施設の認定を促進すること、

輸出事業者の事業計画を認定する仕組みなどが明記される見込みです。

法案が順調に通れば2020年4月に施行となり、

新たなビジネスのバックアップが可能となる予定です。

特に国際交渉における加工施設の認定については

HACCPシステムの取り組みが必要と言われております。

システムは一朝一夕では完成しません。

当法人ではHACCPシステムの相談、講習会の開催を積極的に行っております。

お気軽にお問い合わせください。

ご案内はコチラ → <http://www.jffic.or.jp/consulting/consulting05>

□□=====

3. 試験関連トピックス

=====□□

●第115回食品衛生学会に参加してきました！

毎回必ず参加している本学会は、

食品中の有害成分の分析法開発や改良検討に関する発表が多く、

受託分析機関で分析業務に従事する者としていつも有益な情報が得られています。

今回感じたのはアレルゲンのLC-MS一斉分析に関する発表が随分増えたという印象でした。

従来ELISAキットからの切り替えを目的とした手法で、

当法人でも数年前から開発に着手しており、いくつかの学会で発表もしております。

非常にハードルの高い分析法で、当法人含め各機関苦勞しているようですが、

しかし確実に改良されており、近い将来アプリケーションが完成する可能性は十分にあります。

